

ハイリビング別冊

防災マニュアル

編集 第一茨木ビューハイツ管理組合
第一ビューハイツ自治会

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県淡路島北端部を震源とするM7.2、震源の深さ20kmの直下型地震により、最悪の大惨事をもたらしました。

死者およそ5,400人、負傷者26,000人余り、全半壊（消失含む）した建物10万戸、避難者は30万人を超え、ライフライン（電気・ガス・水道）、鉄道、道路はズタズタとなり、300万人を超える人々が何らかの被害を受けました。

建物の耐震チェック、家具や家電製品の転倒防止やガラスの飛散防止対策をしていれば、家族を失わずに済んだのではないかと、日常から準備をしておけば…と後悔しても後の祭りであることは言うまでもありません。そこで、かけがえのない家族を守るための参考になればと防災マニュアルを作成することにしました。

《 目 次 》

.....

(1) 緊急対策本部の設置	(1)
☆目的	
☆活動内容	
☆組織図	
(2) 緊急時対策マニュアル (緊急対策本部)	(2)
☆集合場所	
☆役割分担	
☆地震・火災発生時の避難経路及び集合場所	
(3) 家庭での防災マニュアル	(5～8)
☆日常からの備え	
☆地震が発生したら	
(4) 災害伝言ダイヤル	(9)
(5) 各種カード・証明書No. 控え	(10)

緊急災害対策本部の設置

★目的

緊急災害対策本部は災害発生時に設置し、居住者の安全を確保する。

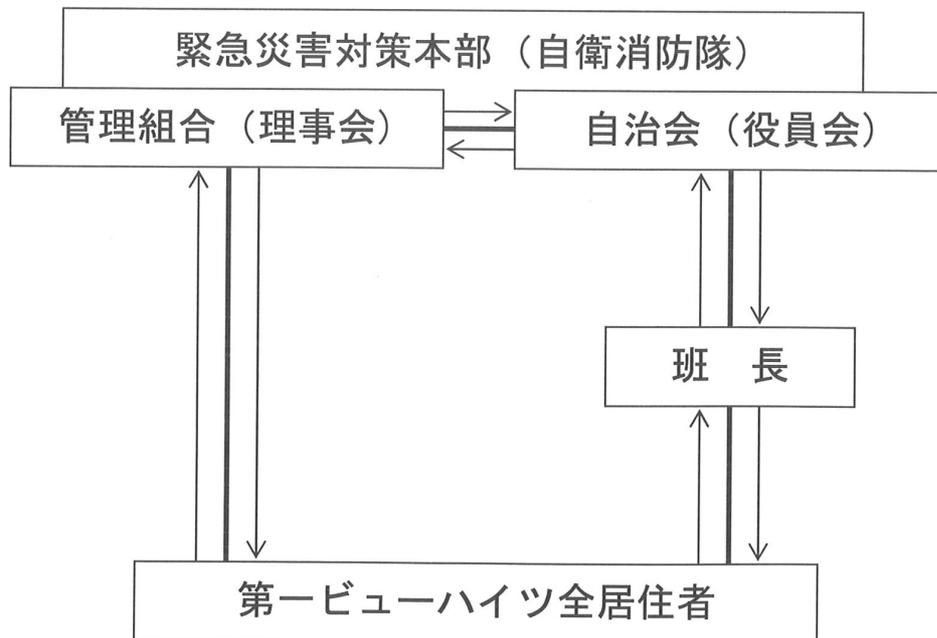
★活動内容

- ◎建物、設備の安全確認。
- ◎避難路の確保・誘導、安否の確認。
- ◎負傷者に対しての応急救護活動。
- ◎居住者に対して情報の伝達・収集。

★組織

管理組合・自治会による協力体制にて組織

緊急災害対策本部（自衛消防隊）組織図



緊急時対策マニュアル（緊急対策本部）

1. 集合場所（対策本部設置） ※隊員各家族安全確保の上集合する

被害状況により①～③に変更あり

① 5号棟1階集会所

② 4号棟ロビー談話室

③ 3号棟横物置付近

2. 役割分担

☆理事会

① 建物、設備の安全確認の上状況報告

② 火災・倒壊の場合、消防・警察への緊急連絡（居住者からの通報含む）

☆自治会

① 各戸への安否の確認（2～3人組による各戸訪問）

② ハンドマイク等での情報伝達（建物・設備の状況、避難に関して）

③ 避難の場合の誘導・避難経路の確保

④ 平田中学にて各班班長により居住者の安否の確認報告

⑤ 負傷者がある場合、応急処置（居住者内に医師・看護師が在宅の場合指示に従う）

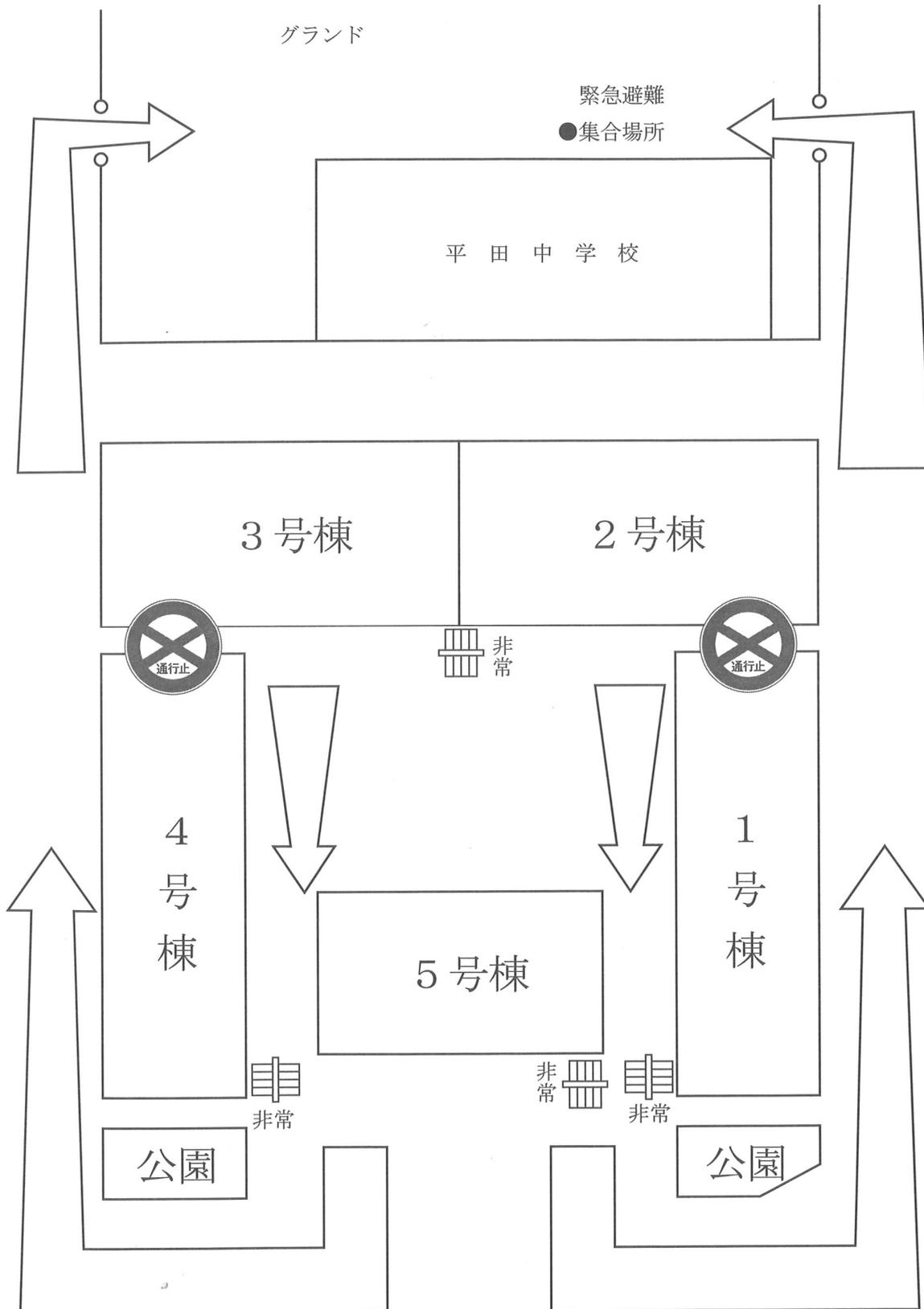
⑥ 緊急食料の確保、炊き出し作業（居住者協力要請）

第1 茨木ビューハイツ緊急対策本部（自衛消防隊）組織



- 注-1. (自)班長と(管)理事が重複の場合は(自)班長を優先する。
 注-2. 本部長（隊長）は、災害発生時の集合状態をみて手薄なところを補強する。
 注-3. 管理事務所は、毎年3月末(管)防火管理者が決定した時点で組織表を作成し全戸に配布する。

地震・火災発生時の避難経路及び集合場所



1. 日常からの備え

●家具・家電製品を固定する

背の高い本棚やタンス、食器棚はどうしても倒れやすくなるので、普段から重いものを下の方に、軽いものを上の方にします。

家具や電化製品の固定は少なくとも上部、左右の3か所で行います。L字型金具で固定する場合は、大きめのものを使用する事が大事です。

また、両開きの家具は、揺れても開かないように金物（ラッチのようなもの）又は荷造りバンドで止めます。重量のある大型テレビ、電子レンジ、冷蔵庫、ピアノなども地震の衝撃で落下したり、移動、転倒しないようしっかり固定します。

寝室には大型転倒物を極力置かない様にしましょう。



●ガス漏れ防止

小さな揺れでも火の始末。とはいえ、立ってられない程の大きな揺れに襲われたときは、やはりとっさにガスの元栓を閉めるのは困難です。そこで、開発されたのが自動的にガスの元栓を止めてくれるマイコンメーターです。震度5以上の地震を感知すると作動し、ガスを止めます。ただし、災害後にガスが復旧しても、復帰方法がわからないために、ガスを使用出来ないということがないようにメーター交換時に配布される冊子を保存しておき、復旧に備えましょう。

● 出入り口の整理整頓

避難する際に逃げ道をふさがれたり、あわててつまづいてけがをすることのないよう部屋の出入り口、隣家との仕切板付近は物を置かず、二方向への避難が出来るように、日頃から整理整頓を心掛けておきます。



● 非常用持ち出し袋を用意する

家庭内の決まった場所に用意しておきます。家族全員が置き場所を知っておくことも大切です。身軽に行動出来るよう最低限必要なものを入れておきます。水や食料は、家族の人数分で重量オーバーにならないようにします。

赤ちゃんのいる家庭なら粉ミルクや紙オムツ、女性なら生理用品を忘れずに用意しておきます。持病のある人は自分の薬を入れておくことも大切です。

財布や貴重品もまとめて、いざというときに持ち出せるようにしておきます。小銭を缶または瓶に入れておく大変役立ちます。(停電の際カード電話は使えません)



※あると便利な物

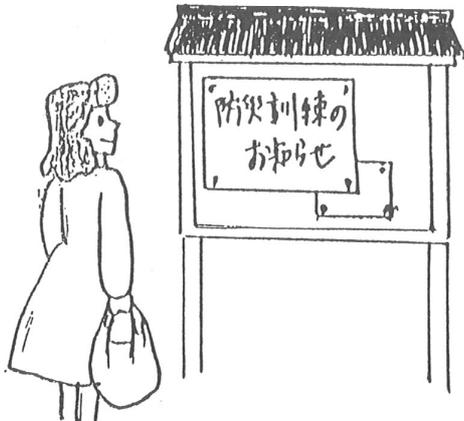
- ・多機能ナイフ (ナイフ、スプーン、フォーク、缶切りの付いたもの)
- ・ウェットティッシュ (水が不足するため何かと役立ちます)
- ・トイレットペーパー (いざという時にありがたみがよくわかります)
- ・タオルや石けん、ひげそり、シャンプー
(ストレス防止のため常にすっきりした気持ちを保ちます)
- ・サララップ (食器にかけて使用すれば、食器を洗わずに何度も使用出来ます)

- ・シーツ [清潔なもの] (切り分けて三角巾や包帯として利用出来ます)
- ・非常用飲料水タンク (給水するとき必ず必要になります)
- ・携帯用浄水器 (川の水や湧き水、雨水、風呂の水を飲料水に変えることが出来ます)
- ・ダンボール箱 (ビニール袋 (ゴミ袋) を入れて簡易トイレの代用として利用出来ます。消臭スプレーも用意)



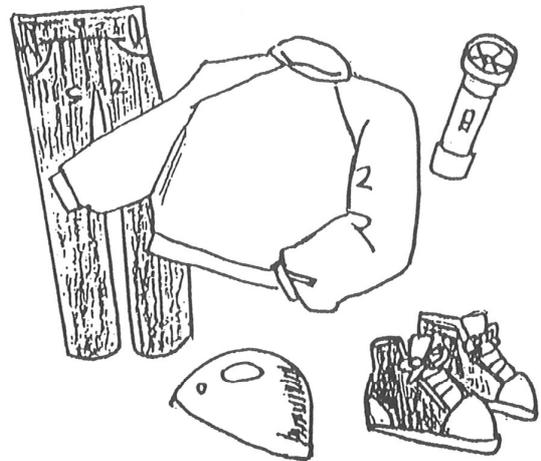
●枕元にも備え

睡眠中に地震に襲われたときのために、枕元には最低限ウールか綿製品の長そで長ズボンの衣類を用意しておきます。懐中電灯やヘルメット、スニーカーも置いておくとよいでしょう。家具の下敷きになった際、恐怖や過労で大声が出せない場合もありますから、笛を用意して置くこともよいでしょう。



●近隣との協力体制を作っておく

赤ちゃんや寝たきりのお年寄りのいる家庭では、当然家族だけでは対処出来ない事態も発生します。だれもが大変な時です。だからこそ近隣同士の助け合いが大切です。近隣や自治会との協力体制について話し合っておく必要があると思います。日ごろから近隣同士の緊急ネットワークを作っておけば安心です。自治会の防災訓練にも積極的に参加しておくことも大切です。



地震が発生したら！

少しでも揺れを感じたら、まずは火元の始末です。防災頭巾やクッションなどで頭部を保護し、ドアを開けて避難口を確保してください。特にマンションではドアがゆがんで、開かなくなり、閉じ込められる危険があります。あわてて外に飛び出さないで、机やテーブルの下にもぐって揺れがおさまるのを待ちます。動けないお年寄りがある場合は、家具の転倒や落下物の危険のない所に運び、布団をかぶせます。

火災が発生した場合

マンションの場合、火災が発生した時は落ち着いて、まず火元がどこであるかを正確に知り、そこから遠ざかることが鉄則です。窓やドアを閉め、火元から離れた横方向から避難します。急いで脱出したいからといってエレベーターを使用しては危険です。煙に巻かれない外部の非常階段を使います。

その後、あらかじめ指示された避難場所へ。その際できるだけ家族と一緒に行動するようにします。

また、家族が仕事、学校等により別の場所にいる事を想定し、あらかじめ共通の連絡先、集合場所を決めておくことも大切なことです。



大規模な災害が発生した場合電話での他地域との連絡が困難になります。
災害用伝言ダイヤル「171」利用しましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。災害時の提供開始については、テレビ・ラジオなどでお知らせします。



伝言の録音方法

1 7 1 にダイヤルする

↓ ガイダンスが流れます

録音の場合 1

〈キーとする電話番号〉 ↓ ガイダンスが流れます

例 (06) 1 2 3 4 - 5 6 7 8



伝言の再生方法

1 7 1 にダイヤルする

↓ ガイダンスが流れます

録音の場合 1

〈キーとする電話番号〉 ↓ ガイダンスが流れます

例 (06) 1 2 3 4 - 5 6 7 8

被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方のキーとする電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

体験利用提供日

- 平成16年9月1日より「毎月1日」 24時間利用可能（毎年1月1日を除く）

ご利用にあたっての留意点

- 家族や親類、知人などとの間で、登録の際の「キーとする電話番号」をあらかじめ決めておいてください。
- 限られた録音時間内(30秒)で的確に情報を録音できるようお話しください。

尚災害時のサービス提供開始はテレビ、ラジオ等で広報されます。

各種カード・証明書 No. 控え

クレジットカード	名称
	No.
〃	名称
	No.
〃	名称
	No.
〃	名称
	No.
パスポート	No.
運転免許証	No.
〃	No.
銀行口座	銀行名
	支店名
	No.
〃	銀行名
	支店名
	No.
〃	銀行名
	支店名
	No.
〃	銀行名
	支店名
	No.
生命保険	名称
	No.
〃	名称
	No.
年金	名称
	No.
〃	名称
	No.
損害保険	名称
	No.
〃	名称
	No.
他府県緊急連絡先	氏名
	TEL
〃	氏名
	TEL